

令和 2 年度
新人向け OJT（プリセプター）促進研修
～新人職員を“なくてはならない存在”にしていく～
実施要領

1. 目 的

介護・福祉施設におけるサービスの質を高めていく人材の定着こそ喫緊の課題です。入職者を指導・育成するプリセプターシステム（上司・先輩が部下・後輩を指導する仕組み）の導入を考えている法人・事業所を対象に、本研修はその導入方法や促進のポイントを段階的、実践的に学ぶことを目的に実施します。また本研修は講義と演習を通して、新任職員に対する指導・育成だけでなく、中堅・ベテランにも応用できる内容になっています。

2. 主 催

福島県から委託を受け、社会福祉法人福島県社会福祉協議会が実施する。

3. 日 時

【1班】令和2年 9月28日（月）～ 令和2年 9月 29日（火）

【2班】令和2年11月 9日（月）～ 令和2年11月 10日（火）

1日目：午前10時30分～午後4時30分 2日目：午前10時～午後4時

4. 会 場

【1班】ビッグパレットふくしま プレゼンテーションルーム

〒963-0101 郡山市南町2丁目52 TEL024-947-8010（別紙地図参照）

【2班】ホテル福島グリーンパレス 瑞光 東の間

〒960-8068 福島市太田町13-53 TEL024-533-1171（別紙地図参照）

5. 受講対象

1日目：以下の施設・事業所の①経営管理職層（施設長・現場課長など事業推進、人材育成の両面に責任のある方）並びに②指導職層（現場で中核的に活躍する指導的職員、育成担当者）

※1日目は必ず①と②のペアで受講してください。

2日目：指導職層（現場で中核的に活躍する指導的職員、育成担当者）

※2日目は指導職層向けのプログラムですが、経営管理職層の受講も可能です。

介護保険法に規定する介護保険施設（介護予防）、居宅サービス事業所（介護予防）、地域密着型サービス事業所、老人福祉法（昭和38年7月11法律第133号）に規定する老人福祉施設で介護職員が義務付けられている施設・事業所。

6. 定 員

【1班】郡山会場：60名

【2班】福島会場：60名

※国及び県の感染防止対策や研修会場の方針に則り、定員を縮小する場合がありますのでご了承ください。

7. 研修内容

別紙プログラムの通り

8. 研修経費

無料

9. 申込方法

別紙「受講申込書」に必要事項を記入のうえ、FAXにて

令和2年8月17日(月)AM8:30から

令和2年9月 4日(金)PM5:00までに下記へお申込みください。

10. 個人情報の取り扱い

受講申込書に記載された個人情報は、運営管理の目的にのみ利用させていただきます。
なお、研修会資料に所属・役職・氏名を掲載します。

11. 留意事項

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努め、国及び県のイベント等開催方針に則り実施します。
- ・受講者同士の間隔を取った座席配置とします。
- ・受講される皆様におかれましても手洗い、マスク着用等ご協力くださいますようお願いいたします。
- ・発熱や風邪など体調不良の場合には受講をお取り止めください。

12. そ の 他

- ・研修会場は室温調整が十分にできないこともありますので、衣服等で調整できるようにご準備ください。
- ・感染症や地震、台風等により中止や延期とする場合がありますので予めご了承ください。なお、中止等の決定は福島県社会福祉協議会ホームページでお知らせしますので、ご確認ください。

※受講者には簡単な事前課題がございます。お取り組みいただき研修当日ご持参ください。

福島県社会福祉協議会 人材研修課 担当：金山

〒960-8141 福島市渡利字七社宮111番地

TEL 024-523-1259 / FAX 024-521-5663

令和2年度新人向けOJT（プリセプター）促進研修

～新人職員を“なくてはならない存在”にしていく～

プログラム



- 1班 令和2年 9月28日（月）～29日（火）（ビッグパレットふくしま）
- 2班 令和2年11月 9日（月）～10日（火）（ホテル福島グリーンパレス）

	時間	科目	講師
1 日 目	10:00～10:25	受付	
	10:25～10:30	開会・オリエンテーション	
	10:30～16:30 (12:00～13:00 昼食休憩)	<p>経営管理職層・指導職層のペアでご参加ください。 講義とペアワークを通して学んでいただきます。</p> <p>1『人材育成におけるOJTの役割』 ・「未来に向けて、今身につけるべきこと」を教える ・「職場は職業人生を豊かにするステージ」という考え方 ・「規範」を作り、「当たり前」の行動にしていく職場へ</p> <p>2『事業所におけるOJTの現状アセスメント』 ・管理職・指導職の意識とOJT活性状況の関係 ・事業所で取り組むべき課題を明らかにする</p> <p>3『個別指導に向けたアセスメントシートの作成』 ・人材育成は利用者支援サイクルとよく似ている ・一人ひとりと会話しながら仕事をする ・仕事をアセスメントし目標をプランニングする ・仕事を身に着かせるティーチングとモニタリング ・ストレスを見出し、伸ばし、またプランニングする</p>	<p>株式会社 エイデル研究所 人材育成支援部 主幹 丹羽 勝 氏</p> <p>経営支援部 川崎 理代 氏</p>
	16:30	閉会	
	9:30～10:00	受付	
2 日 目	10:00～16:00 (12:00～13:00 昼食休憩)	<p>指導職層（OJT推進を担う方）はぜひご参加ください。経営管理職層の方のご参加も可とします。 講義とグループワークを通して学んでいただきます。</p> <p>4『指導的職員としてOJTを再確認する』 ・コミュニケーションのポイントを確認する ・「この先輩のようにになりたい」と思ってくれるか</p> <p>5『指導の実際～成熟度をアセスメントする』 ・日常のOJTと意図的OJTの組み合わせで育てる ・仕事の成熟度に応じたOJT実践のポイント</p> <p>6『OJTの実践と仕組みの運用』 ・仕事の教え方4段階とOJTの具体的な行動 ・「仕事の急所」をどのように伝えるか ・業務の標準化（手順書作り）とOJTは二つで一つ</p>	<p>株式会社 エイデル研究所 人材育成支援部 主幹 丹羽 勝 氏</p> <p>経営支援部 川崎 理代 氏</p>
	16:00	閉会	